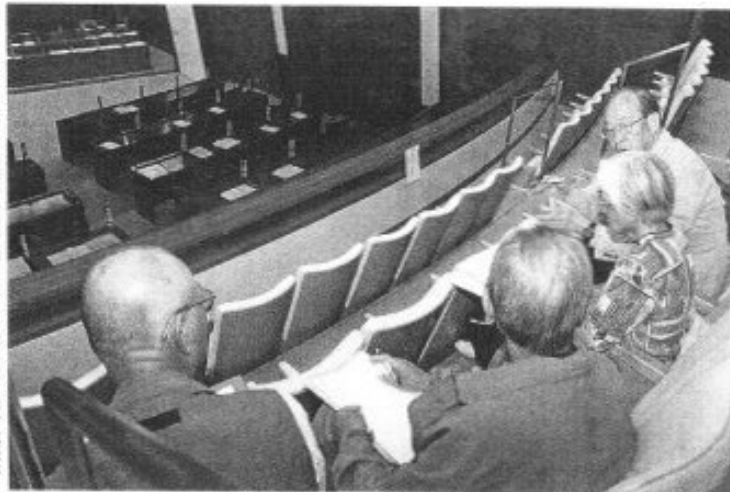


「議会は本当に役に立っているのか?」。こんな不信任を抱く住民が少なくない。首都圏を中心に、わがまちの議会の傍聴する住民の議会ウォッチ活動が活発化している。自らの目と耳で議員の活動を確かめ、ときにほめ、

ときに叱咤し、首長や行政の監視、政策立案という議会の使命をきちんと果たしてもらおうという試みだ。先進地の取り組みから、住民と議会のよりよい関係を考える。
(藤岡慎吾)

相模原市(神奈川)

市議会の昼休み、傍聴席で一般市民の感想を話し合った赤倉代表右側から相模原市議会をよくする会メンバー。神奈川県相模原市



9月下旬、神奈川県相模原市、傍聴席では男女4人、原市の市議会議場。午前9時が真剣にメモを取り続け、時半に開会すると、一般市民が入れ替わり、A議員は「○○公民館のむべき」と市執行部に迫った。

赤倉昭男さん(75)がメモの手を休めたため息を吐く。「Aさんは公民館関係者の参考にしてもらうため、全前に公表した。結果は13人が焼き付いている。」

傍聴して議員の通信簿

が支持母体。Bさんの実家は病院。2人とも当選以来似たような質問ばかり。もっと市政全般に目を向けてもらわないと……

■ □ ■

都心から電車で1時間。政令市・相模原市は東京のベッドタウン、人口12万人、市議会議員52人で、岡山市とほぼ同じ規模。赤倉さんは、市民でつくる議会ウォッチグループ「相模原市議会をよくする会」の代表を務めている。

議員名	所属	得票数	投票率	定例会出席	質問	答復	市民からの声	市民からの声への答復
赤倉昭男	自由民主党	13,000	55.0%	100%	10	10	10	10
...

相模原市議会をよくする会が今年発行した議会通信簿や会報。高評価の市議は通信簿を独自に刷り増して配布したという

「市民が行動すれば議会は変わる」と、赤倉代表は言う。「議場でまじめな議員こそが評価されるべきだ。今後市議会をしっかりとチェックして市民に伝えたい」

1999年に結成された議員実名だ。内の議会ウォッチ活動の草分け。会員86人、自治会役員や福祉問題で市との交渉経験を保持する15人が中心になり、年4回の定例会ごとに、本会議と全委員会を傍聴する。質問に論評を加えて会報を作り、市民館へ置く。市議選前には、「議会通信簿」を発行。投票日の通信簿は今春の選挙戦の参考にしてもらうため、全前に公表した。結果は13人が焼き付いている。

「不可」(50/31点)で、1人は「落第」(30点以下)。4人に1人以上に「議員失格」の判定を下した。

「その分、市議が市政の監視役として頑張ってくれている」と思っていたのに。腹立ちが活動の原動力になった。

活動13年目。議場での議員の問取りや私語は劇的に減った。しかし、質問は今もささいなデータの確認などが大半を占める。他の自治体に劣る行政分野の指摘や、成果が不十分な事業の改善を求める質問は少ない。

今春、通信簿4千部はすぐに無くなり、全文を掲載したホームページへのアクセスは過去最大の1・3万件に上った。会の申し入れで、議会運営委員会の公開や本会議と委員会の審議資料の貸し出しも実現した。

「あまりにひどかった」。赤倉代表は会の発足当時、初めに傍聴した議場の光景が目にした。居眠り、私語、立ち歩き。「あまりにひどかった」。赤倉代表は会の発足当時、初めに傍聴した議場の光景が目にした。居眠り、私語、立ち歩き。

「その分、市議が市政の監視役として頑張ってくれている」と思っていたのに。腹立ちが活動の原動力になった。

活動13年目。議場での議員の問取りや私語は劇的に減った。しかし、質問は今もささいなデータの確認などが大半を占める。他の自治体に劣る行政分野の指摘や、成果が不十分な事業の改善を求める質問は少ない。

今春、通信簿4千部はすぐに無くなり、全文を掲載したホームページへのアクセスは過去最大の1・3万件に上った。会の申し入れで、議会運営委員会の公開や本会議と委員会の審議資料の貸し出しも実現した。